

図書館だより（千葉点字図書館）

2026年(令和8年)2月号(通巻第475号)

編集・発行 社会福祉法人 千葉県視覚障害者福祉協会

視覚障害者総合支援センターちば

千葉点字図書館

〒284-0005 千葉県四街道市四街道1丁目9番3号

電話：043-424-2588

E-Mail(貸出)：kasidasi@tisikyo.jp

目 次

1. 新しい風、確かな道標

2. お知らせ

- ・センター休館日について
- ・用具部からのお知らせ
- ・SDカードダウンロードサービスのご案内
- ・購入雑誌のご案内
- ・自館製作雑誌のご案内
- ・他館製作雑誌貸出のご案内
- ・寄贈資料のご案内

3. 新入図書の紹介

4. おすすめ図書の紹介

5. 墨字図書出版情報（朝日新聞 2026.1.10）

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

6. ニュース・新聞記事から

- ・子どもに無償でメガネを（朝日新聞 2025.9.28）
- ・早期相談の仕組み構築へ（千葉日報 2025.9.28）
- ・全盲受験生 夢破れ（毎日新聞 2025.7.6）

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

7. 地域情報

- ・もっとしりたい！発酵県ちばのこと（ちばnote 2026年1・2月号）

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

1. 新しい風、確かな道標

三寒四温の候、少しずつ春の足音が聞こえてくる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。このたび、視覚障害者総合支援センターちばの所長に就任いたしました、山崎竜太でございます。

私自身、弱視当事者として、幼少期より「見えにくい世界」の中で育ってまいりました。それゆえ、情報へのアクセスがいかに日々の生活の支えとなり、また心の彩りとなるか、その重要性を身をもって感じております。点字図書館は、「本の貸出場所」に留まらず、言葉と出会い、世界とつながり、時には明日を生きる活力を得るための「知のインフラ」です。これまで、職員やボランティアの皆様、そして何より利用者の皆様が大切に守り育ててこられた千葉点字図書館の歴史の重みを、深く受け止めております。

情報化社会が進み、読書の形が点字からデイジー、そして電子書籍へと多様化しても、私たちが目指すものは変わりません。それは、「読みたい」という思いに寄り添い、障壁を取り除き、一人ひとりの豊かな生活を支え続けることです。伝統ある千葉点字図書館の温かさを大切にしながら、変化する時代に即した、皆様の暮らしをより豊かにするサービスを提供できるよう、職員一同、新たな気持ちで業務に邁進してまいります。

季節の変わり目、どうぞお体を大切にお過ごしください。これからも、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2. お知らせ

センター休館日

2月の休館日は次のとおりです。

6日（金） 図書整理日（貸出の対応を終日休止）

20日（金） 職員会議のため 13時30分以降休館

用具部からのお知らせ

いつもお世話になっております。用具部 河野こうのです。

大好評いただいている視覚障害者向け福祉機器展を今年も開催いたします。

第4回 千視協 視覚障害者向け福祉機器展

～More convenient life もっと便利な生活～

日時：令和8年4月18日（土）午前11時から午後3時まで

場所：視覚障害者総合支援センターちば

千葉県四街道市四街道1-9-3

●出展品目（予定）

拡大読書器・音声読書器・眼鏡型（暗所視覚支援）拡大読書器・眼鏡型音声読書器

点字ディスプレイ・遮光眼鏡・ルーペ・単眼鏡・暗所視覚支援眼鏡・プレクストーク・

センスプレーヤー・シカイ（点字ブロックQRコード）・音声標識ガイドシステム・あしらせ・

肩掛け式歩行安全支援機器・しゃべリモ・小型触図筆ペン・視覚障害者用パソコンソフト・

音声腕時計・白杖・白杖入れなど木綿手作り品・視覚障害者に便利な手袋・

視覚障害者向け用具の見積依頼受付と便利グッズ販売

●イベント

【盲導犬紹介・体験】

盲導犬訓練士にアドバイスをもらいながら盲導犬と体験歩行ができます。

【初心者 iPhone 相談】当日予約制

視覚障害をお持ちの方で、iPhoneに触った事がない、持っているがほとんど利用していない、これから購入を考えている方を中心に特徴説明から、基本操作や音声通話、文字入力などを体験していただきます。

【生活に関する相談】当日予約制

見えない、見えにくいことでお困りごとはありませんか？専門の相談員が個別対応いたします。

ご本人はもちろん、ご家族、支援者の方からの相談も受け付けております。お気軽にご利用ください。

【e スポーツ体験】

ePARAがサポートする、視覚障害者向けeスポーツ体験コーナー。

初心者でもすぐに楽しめる「音戦宅球eSports」を体験できます。

初めての方からゲーム好きの方まで、幅広く楽しめる内容です。

【キッチンカーがやってくる！】

今年もキッチンカーがやってきます！センター前駐車場にて出店します。ご家族で、ヘルパーさんと、お仲間とおいしい笑顔を満喫してください。

以上、福祉機器展、用具に関してのお問合せ、ご注文は

TEL043-420-8763

まで、お気軽にご連絡ください。

SDカードダウンロードサービスのご案内

当センターでは、SDカードにお好きな音声データをダウンロードするサービスを行っています。ご希望の方は、当館宛にSDカードを郵送し、メールまたは電話にてご希望の図書をご連絡ください。SDカードの容量とは関係なく1枚につき5タイトルまでのダウンロードとなりますのでご了承ください。

●利用対象：SDカードで再生する機器、またはパソコンをお持ちの方。

●貸出方法：SDカードダウンロードサービスをご希望の方は、来館・電話・メール・手紙のいずれかでお申込みください。

●連絡先：電話 043-424-2588 メール：kasidasi@tisikyo.jp

何かご不明な点がありましたら、貸出担当までお問い合わせください。

購入雑誌のご案内

現在当館では、次の点字、デイジー雑誌を購入しています。

点字

- ・鍼灸の世界 年12回発行 東洋医学、西洋医学、ニューメディアなどに関連する記事を掲載。
- ・旅 年6回発行 京都ライトハウス製作の旅の魅力を伝える情報やエッセイを掲載。
- ・テルミ 年6回発行 視覚に障害のある子どもたちを対象にした学習絵本。墨字併記。
- ・点字ジャーナル 年12回発行 理療や福祉の情報の他、スポーツ、旅、グルメ等趣味の話題も掲載。

デイジー

- ・視覚障害 年12回発行 視覚障害に関するテーマ全般。当事者等による特集記事、対談等を掲載。
- ・点字毎日 年25回発行 視覚障がいに関するニュースを取り扱っている。
- ・ライト&ライフ 年12回発行 身近な生活情報を提供。

自館製作雑誌のご案内

当館では、月刊で発行されている「ナショナルジオグラフィック日本版」を点字で、隔月刊で発行されている「小説宝石」を音声デイジーで製作しています。

「ナショナルジオグラフィック日本版」は貸出、「小説宝石」は貸出ではなく差し上げています。

他館製作雑誌貸出のご案内

現在貸出している雑誌（音声デイジー）

週刊：エラ、サンデー毎日、週刊現代、週刊新潮、週刊文春、週刊ポスト、女性自身、ニュースウィーク、フライデー

隔週刊：オレンジページ

月刊：アイサポートニュース、朝日新聞医学情報、朝日新聞天声人語、栄養と料理、NHKきょうの健康、NHKきょうの料理、NHK俳句、オール読物、音楽の友、月刊ジャイアンツ、月刊情報誌「読書」、声の食生活情報、さかえ、趣味の園芸、小説新潮、小説すばる、ステレオ、世界、全国点字図書館新刊デイジー図書目録、選択、ダンスピュウ、鉄道ピクトリアル、鉄道ファン、東洋経済、トランヴェール、日経サイエンス、日経マネー、ニュートン、ハルメク、PHP、婦人公論、ベースボールマガジン、旅行読売、歴史街道

隔月刊：暮らしの手帖、厚生、フクミニ、理療

寄贈資料のご案内

●次の資料が寄贈されました。

- ・ 全日本鍼灸マッサージ師会 発行 『東洋療法（370号）』 点字1冊
- ・ 日本点字図書館 発行 『にってんディジーマガジン（1月号）』 ディジー1枚
収録内容：ブックウェーブ（視覚障害者や本に関する話題）、文藝春秋、ホームライフ（料理・育児・新製品などの実用記事や、暮らしの情報・話題）、医学研究（健康に役立つ情報、三療に関する記事および大学病院等所属の講師陣による臨床講座を掲載）他。

●次の資料は差し上げます。ただし部数に限りがあります。

- ・ 自由民主党 発行 『自由民主（119号）』 点字1冊
- ・ すこやか食生活協会 発行 『電子レンジでミートクッキング2』 大活字・点字併記1冊
- ・ TBS ラジオ総合戦略局 発行
『TBS RADIO 点字・拡大文字音声コード番組表（2025年10月～2026年3月）』
- ・ 内閣府 発行 『令和7年度「心の輪を広げる体験作文」入賞作品集 佳作』 点字1冊

雑誌についてのお問い合わせや貸出を希望される方は貸出担当（TEL：043-424-2588）までお申し込みください。

3. 新入図書の紹介

(点字図書)

[番号、書名、著者名、冊数、原本出版者、出版年、解説の順に読みあげます。]

<一般書>

- ① 「むなしさ」の味わい方 (きたやま おさむ 著) 3冊 岩波書店 2024年1月
[自分の人生に意味はあるのか、自分に存在価値はあるのか…といった誰にでも訪れる「むなしさ」を味わうことができれば、心はもっと豊かになるかもしれない。「心の空洞」の正体を探り、それとともにどう生きるかを考察する。]
- ② あつという間に人は死ぬから——「時間を食べつくすモンスター」の正体と倒し方 (佐藤 舞 著)
3冊 KADOKAWA 2024年7月
[「時間の浪費」はなぜ起こるのか。現代人の課題を「有意義な時間の使い方」にあるとし、先人の知恵と最新の文献から、後悔しない人生を送るための時間の使い方を体系的に整理する。]
- ③ 被災者発の復興論——3・11以後の当事者排除を超えて
(山下 祐介, 横山 智樹 編, 阿部 晃成 他執筆) 5冊 岩波書店 2024年3月
[被災者らの声を排し、行政主導の公共事業によって変質した地域。国の復興政策はなぜ失敗なのか。被災者不在の復興の実態や要因を問い合わせし、いま自分たちの言葉で、るべき地域の未来を構想する。]
- ④ トウモロコシの歴史 (ジョーンズ マイケル・オーウェン 著, 元村 まゆ 訳) 3冊 原書房
2018年7月
[九千年前のメソアメリカに起源をもち、コメ・小麦と並んで世界三大穀物に数えられるトウモロコシ。人類にとって重要なこの作物がコロンブスによってヨーロッパへ伝えられ、世界中へ広まった歴史を、調理法や食用以外の用途、伝承、文化、環境問題など様々な観点から綴る。]
- ⑤ ベルリン・フィル——栄光と苦闘の150年史 (芝崎 祐典 著) 5冊 中央公論新社
2025年5月
[世界最高峰のオーケストラと称されるベルリン・フィルハーモニー。1882年の創設からナチ協力、冷戦後の革新まで解説。150年の裏面ドイツ史に耳をすまし、社会にとって音楽とは何かを問う。]
- ⑥ 右腕を失った野球人 (佐野 慶紀 著) 2冊 KADOKAWA 2025年5月
[家族・盟友への懺悔、病気の怖さ、生きる希望…。糖尿病の影響による感染症のため共に戦った右腕を失い、それでも懸命に生きる、元近鉄バファローズ投手・佐野慶紀の記録。]

- ⑦ ロシア文学を学びにアメリカへ?——屋根の上のバイリンガル 増補版 (沼野 充義 著) 4 冊
中央公論新社 2025 年 1 月
- [1980 年代、ロシア文学専攻でありながら米国に学んだ体験を起点に、亡命者・移民・多言語話者の文学や言葉を縦横に考察。スラヴ文学者の原点たるエッセイに「ハーバード生活から、三つのエピソード」ほかを加えて文庫化。]
- <文学書>
- ⑧ 三毛猫ホームズは階段を上る (赤川 次郎 著) 3 冊 KADOKAWA 2024 年 5 月
- [商店街の雑貨店主が撃ち殺され、片山刑事は目撃者の主婦に事情を訊く。一方片山の妹・晴美は、喫茶店で女が男に妊娠を打ち明けているのを耳にするが、その男は雑貨店主の孫だった…。]
- ⑨ 謎は花に埋もれて (宇佐美 まこと 著) 3 冊 光文社 2025 年 1 月
- [小さな花屋「フラワーショップ橘」の店主志奈子は、50 歳を過ぎて地元の刑事、横山昇司と結婚した。白薔薇、桜、ガーベラ、馬酔木…。物言わぬ花たちが、事件に埋もれた真実を、うやむやにされそうになつた死の真相を静かに語ってくれる。不条理な殺人事件をめぐる、六つの愛憎ミステリー。]
- ⑩ アパレル興亡 上・下 (黒木 亮 著) 上4 冊・下4 冊 集英社 2024 年 5 月
- [昭和 28 年。高校卒業後、東京・神田の小さな婦人服メーカー「オリエント・レディ」に入社した田谷毅一は、人並み外れた努力と才覚で会社を急成長させるが…。日本経済の栄枯盛衰とアパレル産業の裏側を活写する長編小説。]
- ⑪ 脳科学捜査官真田夏希 25 ギルティ・インディゴ (鳴神 韶一 著) 3 冊 KADOKAWA 2025 年 7 月
- [神奈川県警に同じ脅迫メッセージが 5 回続けて届いた。県警の心理職特別捜査官の真田夏希は犯人との対話を開始するが、彼は自らの主張を改めるどころか、計画を実行に移すという。そして翌日、最悪の事態が発生し…。]
- ⑫ 夜警ども聞こえるか (皮肉屋文庫 著) 4 冊 KADOKAWA 2025 年 1 月
- [フリマアプリで購入した一台の中古のボイスレコーダー。そこには、九州の大学での夜間自主警備、通称「夜警」を行う学生たちによって語られたと思われる、たくさんの怪談音声データが残されていた。本書はそれらのデータと、ボイスレコーダーにまつわる一連の出来事をまとめた記録である。]
- ⑬ ひんやり、甘味 (浅田 次郎, 沢村 貞子 他著) 3 冊 河出書房新社 2025 年 5 月
- [口溶けは儂く、どこか懐かしい魅惑の世界へー。甘くて冷たいおやつにまつわる思い出、食べ方の指南、こだわりやうんちくを、浅田次郎、沢村貞子らが綴ったエッセイ全 40 篇を収録する。]

- ⑭ この味もまたいつか恋しくなる (燃え殻 著) 2冊 主婦と生活社 2025年5月
〔彼女との最後の朝食となったシーフードドリアと白ワイン、ジャンボモナカを食べながら「有名になりたかったな」と言った友人…。ある料理を口にすると思い出してしまう、あの日、あの人を描く。〕
- <児童書>
- ⑮ サルと首飾り 黄金の鹿ニグローダ——仏典童話 (浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟 編) 1冊
浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟 2025年11月
〔浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟発行の機関紙『めぐみ』の中から、「サルと首飾り」「黄金の鹿ニグローダ」を収録。〕
- ⑯ 杉森くんを殺すには (長谷川 まりる 著) 2冊 くもん出版 2024年4月
〔「杉森くんを殺すことになった」。高一の五月、ヒロは決心して兄のミトさんに電話で報告した。人殺しになるのなら、やりのこしたことをやっておくこと、なぜ杉森くんを殺さないといけなかったのか裁判所で話せるように理由をまとめておくこと、そうアドバイスしてもらったヒロは言われたことを実践していくことにする。傷ついた心を、取りもどす物語。〕
- ⑰ 小説映画ドラえもんのび太の絵世界物語
(藤子・F・不二雄 原作, 伊藤 公志 著・脚本, 寺本 幸代 監督) 3冊 小学館 2025年2月
〔ひみつ道具で絵の中に入ったのび太たち。不思議な少女クレアの頼みを受けて目指した国には、“世界滅亡”の伝説が残されていた。のび太たちは伝説を打ち破り、世界を救うことができるのか? 2025年公開映画のノベライズ。〕
- ⑱ さんごいろの雲 (やえがし なおこ 作) 1冊 講談社 2024年2月
〔ある日の夕ぐれ、旅のわかいバイオリンひきは空にかかるきれいな雲を見て曲をかなでました。さんごいろの小さな雲はそのお礼にと、彼のバイオリンに魔法をかけます。〕
- ⑲ このすばらしきスナーグの国
(ワイク=スミス E. A. 原作, コッサンテリ ヴェロニカ 作, 野口 絵美 訳) 4冊
徳間書店 2023年8月
〔〈子どもの家〉で暮らすフローラとピップは、そこで働くスナーグ族のゴルボと仲よくしていたのですが、三人が問題を起こした結果、くびになってしまったゴルボはスナーグの国に帰ってしまいます。一方、罰としてお使いに出かけたフローラとピップは、別世界へ足をふみいれることに…。『指輪物語』のトールキンが愛読し影響を受けたというスナーグの物語を、現代作家が再生させた、ファンタジーファン必読の一冊。〕

(音声ディジー図書)

[番号、書名、著者名、時間、原本出版者、出版年、解説の順に読みあげます。]

<一般書>

- ① 起業家ナース——夢だった職場は、心ない殺伐とした世界だった (大石 茂美 著) (5:00)
幻冬舎メディアコンサルティング 2023年1月
〔看護師・介護士が幸せにならなければ、患者や利用者を幸せにはできない。理想の看護・介護を追い求め、51歳で介護施設経営者へと遅咲き転身したベテランナースが、あくなき挑戦の軌跡を綴る。〕
- ② 知的障害のある生徒が料理を好きになるレシピ——ひとりでできた！またやってみよう！
(安岡 知美 著) (5:55) ジアース教育新社 2024年9月
〔障害者の真の自立には食の自立が欠かせない。特別支援学校の家庭科教諭が、授業の工夫とともに、調理の技術に合わせた40あまりのレシピを紹介する。〕
- ③ 勇気と覚悟——視覚障害学生の実験教育における技術支援
(早稲田大学理工学術院統合事務・技術センター 編) (14:59) 早稲田大学出版部 2023年12月
〔視覚障害者も実験科目を履修できる。早稲田大学先進理工学部に入学した全盲の学生が受講した4つの実験科目・全38テーマの実験内容を検討・準備した現場のスタッフの記録。〕
- ④ 歴史は化学が動かした——人類史を大きく変えた12の素材 (齋藤 勝裕 著) (8:22)
明日香出版社 2024年7月
〔デンプン、金属など、人類の歴史に大きな影響を与えた12の素材に焦点を当て、歴史と化学の関連性を解説。人類が豊かさを獲得してきた過程をたどる。〕
- ⑤ 食の選び方大全 (あるとむ 著, 高城 嘉樹 監修) (10:57) サンクチュアリ出版
2024年3月
〔体は、選んだ食べ物でできている。調味料、野菜、生鮮食品など、自然食品店店長が、「おいしくて・安心で・体にいい」食品の見分け方を伝授する。〕
- ⑥ 猫を救うのは誰か——ペットビジネスの「奴隸」たち (太田 国彦 著) (9:41) 朝日新聞出版
2024年9月
〔猫は蛍光灯を1日12時間以上あてると、年3回は産める。「かわいい」の裏側でビジネスの「奴隸」となる犬や猫の凄惨な実態を、信念の取材が暴く。〕
- ⑦ くまさんのこだわりシネマ社会学 (好井 裕明 著) (7:16) 晃洋書房 2024年10月
〔日常生活を批判する力を鍛える営みとして「映画を読み解く社会学」を提案。映画の人間関係、やり取りなどが、どんな意味を持っているのかを解説する。〕

- ⑧ 和のふるまい言葉事典——所作まで身にしみる趣ある言い方 (梶木 良子 著) (5:44)
すばる舎 2024年5月
〔つまだつ、こいこがれる…。少し古風な日本人らしさを感じる言葉300語余りを厳選し、言葉にまつわるエピソードを添えて紹介する、大人のための語彙集。〕
- ⑨ 10代からの文章レッスン——みんなどうやって書いてるの? (小沼 理 編著, 安達 茉莉子 ほか著) (4:59) 河出書房新社 2024年9月
〔身の回りの事や自分の気持ちを言葉でうまく表現するには。エッセイストや作家ら15人が、自分の経験や気持ちを書くためのコツや工夫、心構えを伝授する。〕
- <文学書>
- ⑩ いのちの芽——詩集 (大江 満雄 編) (7:51) 岩波書店 2024年8月
〔全国8つのハンセン病療養所の入所者が参加した合同詩集。73人の227作品を略歴とともに掲載。〕
- ⑪ よむよむかたる (朝倉 かすみ 著) (10:19) 文藝春秋 2024年9月
〔小樽の古民家カフェに老人たちが集まる。月に一度の読書会のためだ。平均年齢85歳の超高齢読書サークルは発足20年を迎え、記念誌を作ろうとするが、すんなりと事が進むはずもなく…。〕
- ⑫ 名称未設定ファイル (品田 遊 著) (6:06) 朝日新聞出版 2022年11月
〔他愛もない投稿を火種に無限に炎上がるSNSの滑稽さを映し出す「猫を持ち上げるな」、一億総発信者時代の闇が垣間見える「紫色の洗面台」など、ネット世界の虚無をシニカルに描く短編17本を収録。〕
- ⑬ ショローの女 (伊藤 比呂美 著) (8:08) 中央公論新社 2024年6月
〔熊本→東京を行き来する新しい生活。あたしを待つのは、愛犬、植物、学生たちで…。ハマる事象や加齢の実状、一人の寂しさなど、詩人・伊藤比呂美が老いの体感をリアルに刻む。〕
- ⑭ 死を運ぶ黄金の卵 (イヴ&ローク 51) (J. D. ロブ 著, 青木 悅子 訳) (18:44)
ヴィレッジブックス 2021年6月
〔ある小児科医の元に届いた差出人不明の小包。そこに入っていた黄金の卵形の容器を開けると強力な毒ガスが発生した。社会的弱者のために活動していた彼がなぜ殺されたのか。イヴが犯人の動機を絞れない中、第2の殺人が起き…。〕

<児童書>

⑯ サルと首飾り 黄金の鹿ニグローダ——仏典童話 (浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟 編)

(0:09) 浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟 2025年11月

[浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟発行の機関紙『めぐみ』の中から、「サルと首飾り」「黄金の鹿ニグローダ」を収録。]

⑯ 注文の多い料理店 (宮沢 賢治 作) (4:19) 講談社 2008年10月

[身勝手な都会のハンターに山猫が復讐するストーリーの中に、作者のするどい批判が込められている表題作のほか、ねずみを主人公にしたユーモラスな童話など、宮沢賢治の美しい童話と詩を全15編収録。]

⑰ カラフル (森 絵都 著) (6:05) 文藝春秋 2024年7月

[「おめでとうございます、抽選に当たりました!」 天使にこう言われ、一度死んだ「ぼく」は、人生に再挑戦するチャンスを得る。だが下界での修行のため体を間借りする中学生 真の生活は、家でも学校でも悩みと苦労の連続で…。]

4. おすすめ図書の紹介

『元素のことがよくわかる本 原子番号「1～118」のすべてを、やさしく解説！』

ライフ・サイエンス研究班 編 河出書房新社 2011年

私たちの身の回りにあるもの、たとえば毎日使う10円玉やスマートフォン、そして私たち自身の体。これらを細かく分解していくと、すべて「元素」という物質の基本単位に行き着きます。

それは、たった118種類の「おもちゃのブロック」のようなものです。この世界のあらゆる物質は、この限られた種類のブロックを複雑に組み合わせることで形作られているのです。

「水兵リーベ僕の船……」かつて学校の理科の時間、呪文のように元素名を暗記させられ、苦手意識を持ってしまった方も多いのではないでしょうか。本書は、1番目の「水素」から118番目の元素までを、難しい化学式などを一切使わずに解説した一冊です。10円玉の「銅」や殺菌に使われる「塩素」といった身近な存在から、携帯電話に不可欠なレアメタルまで、それぞれの元素が持つ「性格」や「活躍の場」を具体的に紹介します。グラフや図解もなく、言葉によるエピソードで構成されているため、読むだけでその元素の個性がイメージできます。

特筆すべきは、日本中が沸いた113番目の元素に関する記述です。執筆当時はまだ「ウンウントリウム」と呼ばれていたこの元素は、現在では理化学研究所の発見として「ニホニウム」の名で周期表に輝いています。こうした科学史の変遷も感じながら楽しめます。

本書を通じて、日常生活から宇宙の成り立ちまで、物質の神秘に触れてみてください。

「元素=難しい」という印象をきっと払拭してくれるはずです。科学に全く興味がなかった方にもおすすめしたい、知的好奇心を刺激する良書です。

山崎

『井上陽水英訳詞集』 ロバート キャンベル 著 講談社 2019年

探しものはなんですか？

見つけにくいものですか？

これは歌手 井上陽水が作詞作曲した1973年発売のヒット曲『夢の中へ』の出だし部分です。昭和のフォーク、ニューミュージックを好む方ならどこかで聞いたことがある曲かもしれません。わたしは単純にこの歌を英語に訳すとどうなるのか？と思い、この本を読んでみることにしました。

探しものはなんですか？ What is it you're looking for ?

見つけにくいものですか？ Something hard to find ?

道で会った外国人にふいに質問された気分になるのが自分でも不思議で、読み進んでいくと次のフレーズがありました。

まだまだ探す気ですか？ Do you want to keep searching ?

それより僕と踊りませんか？ Why not dance with me instead ?

あきらめきれず探し続けることへの皮肉ではなく、相手はただダンスに誘いたかっただけなのかと肩のちからが抜けました。慣れ親しんだ歌の英訳を読みながら、ちょっと夢の中へ行ってみたいと思いませんか？

廣瀬